

小学生の学習をサポート

グループわ〔子どもたちの学習支援活動〕はじまる

理事 中沢 保夫

活動の概況

グループわの「子どもたちの学習支援活動」が9月より始まりました。要請のあった小学校22校中18校延べ72名が次々に活動に入っています。うれしいことに多くの先生方から感謝の言葉が寄せられています。以下、本活動の経過と、これからの計画を報告します。

1、第1回登録者の集い

8月8日(月)開催 於KSC
学習室1,2 出席者44名

(1) 神戸市シルバーカレッジ事務局 明石照久総務課長の激励のご挨拶を頂きました。

(2) 要請校の一つである北区有野東小学校 皆内律子校長より小学校の現状についてお話を頂きました。その中から私たちは、これから活動を進めるに当たって、多くの具体的なヒントを頂きました。

(3) 出席者自己紹介、本活動の基本的な考え方の説明や、お互いの間の意見交換と活動意向の確認をしました。

2、その後要請校との調整を行う。

支援活動予定者が個々に小学校へ出かけて先生と支援日や内容の打ち合わせを終えて順次活動に入り現在に至っています。

3、第2回登録者の集い

11月21日(月)22日(火)に開催致します。

新たに市内の小学校から算数の授業のサポートや特別支援教育補助、クラブ活動補助の要請が来ています。まだ支援できていない学校もあります。グループ

わとして、これらに応えようとする、より幅広い分野でのご協力を頂かなければと思っています。まだ登録されていない会員の方々”登録者の集い”にどうぞ出席下さいますようお願いいたします。(右下の案内をご覧ください)

わくわく若木

タイムに参加して

東須磨小支援者 榊原 惇一

両親の介護生活から解放された矢先、情報ぎゃらりーの学習支援への呼びかけに応募した。東須磨小学校を紹介され「水博士」グループの支援に参加することになった。このグループは

3,4年生56名と担当教師3名で構成されていた。毎週水曜日午後に1時間程、5週間にわたって活動することになった。数十年ぶりに子どもたちと接触するため、とまどいと不安感で一杯であった。

校内プールの生物調査や観察をするうちに、子どもたちに声を掛けられたり、纏わり付かれたりしてみると子どもたちにも受け入れられたのだと感じ、事前の不安は杞憂に終わったようである。

この企画の目的は校区内の川の生物観察を中心に、自然の大切さを学び、大人の話聞くことにより、新たな発見を促し、父母や地域社会との接触等が計られた素晴らしいものであった。5回にわたる体験から1時間前後の活動では如何にも少なく、平日の午後のため、父母の参加は望むべくも無い。定着させるためには相当の時間と、様々な試行が必要と思われる。

今回は、教師との接触が少なく、こちらから積極的に働きかけるべきであったと反省している。今後、このグループには、川や海を汚すゴミの清掃をすること、水を汚さぬような実践活動を取り入れたいと思っている。我々、老人が多く参加して、地域社会に貢献できればと願っている。



学習支援活動の第1回登録者の集い

学習支援活動に参加して

木津小支援者 宮崎 芳江

「子どもたちの学習支援活動」で、私に出来るかどうか不安でした。自宅近くの木津小学校の校長、教頭先生にお会いして、是非来てほしいと歓迎され、そのお言葉でやってみようと思いがわきました。

9月よりスタート、1、2年生の算数の支援で週1回、1学級30～40人クラスで、1人の先生ではなかなか目が届かないところもあり、子どもたちに先生が説明している時は、よく聞くように注意する。行儀の悪い子どもに声をかけたり「わからん、教えて」と手を上げると、やさしく納得いくまで助言する。プリ

ントに丸をつける時、美しい数字で書いている子には褒め、間違えた子どもにはヒントを与えると、直して再び持ってくる。「よく出来たね。100点」というと、嬉しそうな顔。1人1人個性があり、元気いっぱいの子供たちから、パワーをもらっています。グループわに入ろうと思っている方は是非チャレンジして下さい。

第2回登録者の集いのご案内

(1) 現況の報告 (2) 支援者の情報交換を目的として、下記日程で開催いたします。

① 11月21日(月) 14:45～16:30

② 11月22日(火) 14:45～16:30

両日とも、於神戸シルバーカレッジ学習室1,2 2日間開催いたしますので、万障お繰り合わせの上 ①②のいずれかに是非ご出席をお願いします。